

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年7月12日

【評価実施概要】

事業所番号	0172902710		
法人名	株式会社 アイエスティサービス		
事業所名	一条ハイツ		
所在地	北海道旭川市1条通6丁目83番地 (電話) 0166-26-2668		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年7月11日	評価確定日	平成19年7月19日

【情報提供票より】(平成19年4月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和 平成 18年 3月 31日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	12 人	常勤 3人, 非常勤 9人, 常勤換算	4.33人

(2) 建物概要

建物構造	S造C B帳壁 造り		
	4 階建ての 1 ~ 4 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	29,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円
敷 金	有 (円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (150,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	400 円	昼食 300 円
	夕食	500 円	おやつ 180 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要 (4月1日現在)

利用者人数	9 名	男性 3 名	女性 6 名
要介護1	3 名	要介護2	2 名
要介護3	2 名	要介護4	2 名
要介護5		要支援2	
年齢	平均 80 歳	最低 70 歳	最高 98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	東郷整形外科医院 医療法人社団 林歯科医院
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

交通の利便性に優れ旭川駅すぐ側の市内中心部に位置し、4階建ての旅館を改築して設立された開設1年目のグループホームである。利用者それぞれの居室は、10畳ほどの空間が確保され、馴染みの家具や仏壇、冷蔵庫、電話など持ち込まれ利用者が思い思いに自由に過ごせたり、趣味を活かせる場となっている。また、家族の宿泊も可能でゆっくり過ごせる場となっている。管理者・職員は、ケアサービスの質の向上に対して熱意を持ち取り組んでいる姿が伺えて、今後益々期待されるグループホームである。運営推進会議も評価日現在1回実施され、地域に密着した取り組みをしていく意欲が議事録から感じられた。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	開設間もないグループホームであり、今回が初めての外部評価である。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、全ての職員が参加して取り組み研修の機会として捉えられケアサービスの質の向上に利用されています。また、外部評価の結果については運営推進会議で報告され改善の機会として取り組む予定です。管理者、職員は評価の意義を確認し合い理解が深められています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は、評価日現在1回実施されています。議題については ①グループホームの目的について(地域密着型サービスについて) ②ケア方針について ③年間の行事予定について ④グループホームの一日の流れについて ⑤次回開催の運営推進会議の要望や取り組みについて
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	「たより」の発行や利用者の日常の暮らしぶりなど家族に報告されています。今後は、さらに「たより」を定期的に発行してホーム行事参加の様子や職員の紹介、運営推進会議の報告など家族に情報提供して、意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりに取り組む計画や運営推進会議などを通じて家族の意見を運営に反映させる取り組みも行われています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	市内中心部に所在して商業施設が多く住民が少ないなど地域的に難しい面もあるが、日常生活を通じて近隣住民との交流が図られています。また、敬老会や町内会行事参加を通じて地域とのさらなる連携を行ない地元の人々との交流に努めています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるために、開設当時からの運営理念をもとに職員間で共有されている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は理念の重要性をカンファレンスや申し送りを通じて日々取り組み職員間で共有している。	○	今後は、理念達成の為に職員個々の具体的な目標を掲げてその達成度を共有する取り組みが検討されている。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	商業施設が多い市内中心部に位置して住宅が少ないなど難しい面もあるが、日常生活を通じて近隣住民との交流や敬老会、町内会行事に参加したり運営推進会議を通じて地元の人々との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解しており、日々の業務の中でそれらを活かす取り組みがされている。また、外部評価結果についても運営推進会議で報告して具体的な改善に取り組んでいく計画である。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議については評価日現在1回開催されている。メンバーは家族、地域の住民、他施設の介護支援専門員、管理者・職員で構成されてサービスの質の向上に具体的に取り組んでいる。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は市担当者と相談や連携について日々取り組んでいる。	○	事業所は市との連携の重要性を理解して、今後はさらにサービスの質の向上に繋がる相談や研修の機会の確保など検討されている。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	「たより」の発行や電話連絡などで利用者の日常の暮らしぶりや健康状態などそれぞれの家族に情報提供している。また、状態変化については都度電話連絡などで詳細に報告している。	○	今後は、定期的に「たより」を発行して、職員の紹介や運営推進会議の内容などそれぞれの家族に報告していくことが検討されている。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議で家族の意見を聞く機会を作ったり、来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに取り組みそれらを運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者、管理者は職員の異動や離職などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は、内部研修の実施や外部研修参加を奨励している。また、申送りやカンファレンスなどで職場内研修やOJTの実施がされ職員を育てる取り組みがされている。	○	今後はさらに、他施設との交流や研修など計画されている。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者、管理者は、同業者との交流の機会や相互訪問など開かれたグループホームを目指して、ケアサービスの質の向上をさせていく取り組みを計画している。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して納得したサービスが受けられるように入居前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員も利用者と一緒に楽しんで食事をしたり、アセスメントに基づいて過去の大事な出来事や生活歴を把握して、本人の気持ちになった支えあう関係を築いている。	○	認知症ケアに有効なセンター方式の勉強会や研修など検討されている。

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや希望を把握して散歩や買い物などで外出の機会を多く作ったり、趣味への支援や食の嗜好の把握など取り組みがされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護支援専門員の適切な管理のもとに利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。	○	介護記録は、バイタルチェックや水分・食事摂取量など具体的に記録されている。今後はさらに、記録の簡素化や効率化についても検討されている。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画書は3ヶ月に一度計画的に見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況に応じて、通院の支援や要望のある場合には散歩や買い物など柔軟に支援を行っている。また、理美容院への訪問など時々々の要望にも対応されている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について医師や家族とも段階的に相談しながら慎重に検討対応するよう職員間で共有されている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重した声かけがなされ、記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した配慮された取り組みが行われている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	アセスメントに基づいて利用者一人ひとりの気持ちが把握され職員間で共有されている。また、一人ひとりの思いを尊重して買い物、散歩など本人の希望やペースに沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が一緒になって楽しんで食事をしている。本人の希望や力量に応じて後片付けをしたり和やかな雰囲気を出している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は決めずに週2回を目安に利用者の希望に応じて対応している。また、ゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食器洗い、外食や買い物、散歩など心身のリフレッシュや気分転換のため外出の機会もつくられている。	○	今後は、利用者のさらなる生活歴の把握で七夕など戸外で楽しめるレクリエーションなども検討されている。
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物、散歩、さくらんぼ狩りなど気分転換や心身のリフレッシュができるように外出の支援がされている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、鍵をかけないケアに取り組んでいる。利用者が外出する時は、さりげなく目配りして安全面に配慮されている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけしている	防火管理者が配置され、ホットライン・消防設備についても点検が実施され対策されている。	○	今後は、火災などの緊急時に全ての職員が速やかに対応できるように火災避難訓練など実技を伴う訓練を消防署の協力を得ながら実施されることを期待します。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	具体的な水分・食事摂取量が記録され、栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下などの共用空間は、利用者が気になる職員や来訪者の視線、圧迫感を遮る構造になっている。また、廊下には椅子やテーブルが配置され一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、10畳ほどあり仏壇や使い慣れた家具、電話などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。また、家族が宿泊できるスペースも確保され一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。